

石川県の将来推計人口

(平成 25 年 3 月国立社会保障・人口問題研究所推計)

結果の要点

- ・ 石川県の人口は平成 52(2040)年には 100 万人を割り込む

石川県の人口は長期にわたって減少が続き、平成 52(2040)年には 100 万人を割り込み、974 千人となる。

(前回 H19.5 推計では 100 万人を割り込むのは平成 47 年(960 千人))

- ・ 総人口全国順位は 3 4 位から 3 1 位に上昇

石川県の人口は減少するものの減少率が比較的小さいため、全国順位は 3 4 位から 3 1 位に上昇する。

- ・ 老年(65 歳以上)人口及び 75 歳以上人口の割合は大幅に上昇

老年人口の割合は 23.7%(2010 年)から 36.0%(2040 年)に、75 歳以上も 12.1%(2010 年)から 21.0%(2040 年)に、それぞれ大幅に上昇する。

- ・ 奥能登の 75 歳以上人口は減少

75 歳以上人口の割合は、全 19 市町で上昇するものの、奥能登 4 市町の 75 歳以上人口そのものは、17 千人(2010 年)から 13 千人(2040 年)に減少する。

URL: http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/2630/shourai_kaisetsu.pdf

平成 25 年 4 月

石川県県民文化局県民交流課統計情報室

平成25年3月27日、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省所管）から「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」が公表されました。これに基づく石川県関係分の概要は次のとおりです。

目次

1	石川県の将来推計人口	1
2	県内市町、地域の将来推計人口	5
3	県内市町、地域の年齢別人口割合	10

解 説

将来推計人口

国勢調査や人口動態統計などのデータから将来の出生率や死亡率を仮定し、日本全体の人口、都道府県別・市区町村別の人口が数十年後にどうなるか、国立社会保障・人口問題研究所で国勢調査に合わせて、おおむね5年ごとに算出している。平成22年のデータを基にした平成72年（50年後）の日本の推計人口は平成24年1月に公表され、これによると日本の人口は平成22年の1億2,805万7千人から50年後には約3割減少し、8,673万7千人になるとしている。

地域別将来推計人口

今回の推計は、将来の人口を都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、平成22年国勢調査を基に、平成22年から平成52年までの30年間（5年ごと）について、男女・5歳階級別に推計している。

なお、個々の詳しい内容については、国立社会保障・人口問題研究所ホームページ『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』を参照のこと。

利用上の注意

- 1 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しており、表章単位未満を含んだ数値から算出している。このため、総計と内訳の計とは必ずしも一致しない場合がある。
- 2 「－」は該当数値がないもの、「△」はマイナスを意味する。
- 3 市町名は、平成25年3月1日現在の市町による。

1 石川県の将来推計人口

(1) 石川県の人口は平成 52(2040)年には 100 万人を割り込む。

国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省所管）から、平成 25 年 3 月に公表された「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」によると（以下同じ）、本県の推計人口は長期に渡って減少が続き、平成 52(2040)年には 974,370 人と、100 万人を割り込む。

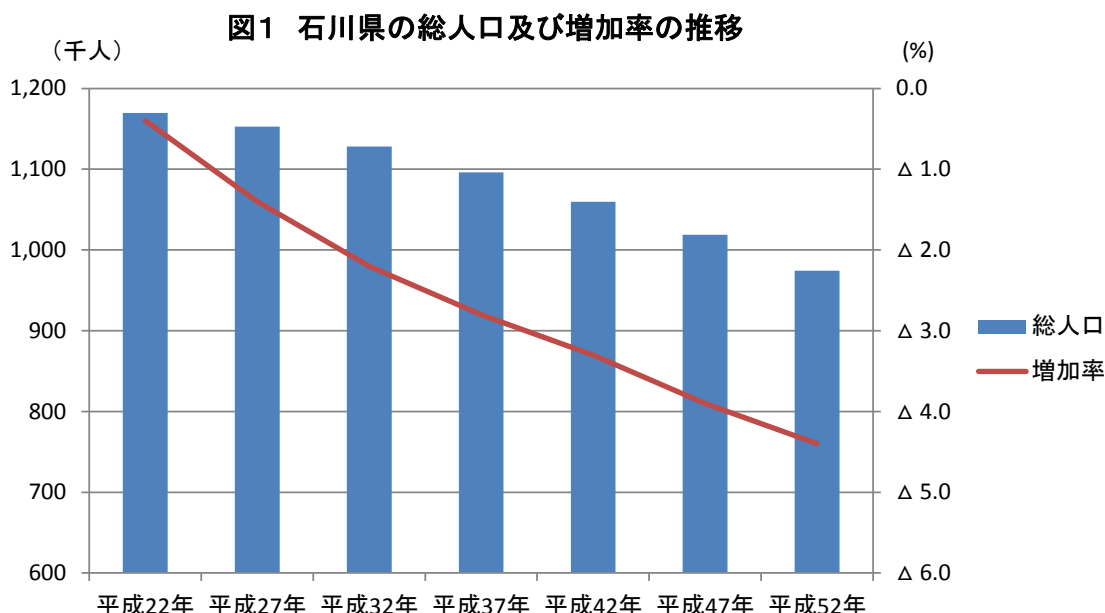
平成 22(2010)年の 1,169,788 人と比較すると、約 19 万 5 千人、16.7%の減少となる。

表1 石川県の総人口、指数及び増加率の推移

年次	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)
総人口(人)	1,169,788	1,152,926	1,128,068	1,096,170	1,059,630	1,018,824	974,370
指数 ※1	100.0	98.6	96.4	93.7	90.6	87.1	83.3
増加率(%) ※2	△ 0.4	△ 1.4	△ 2.2	△ 2.8	△ 3.3	△ 3.9	△ 4.4

※1 平成22(2010)年の総人口を100としたときの総人口の値

※2 増加率は5年前との比較



(2) 年少(0-14 歳)人口及びその割合は減少傾向。

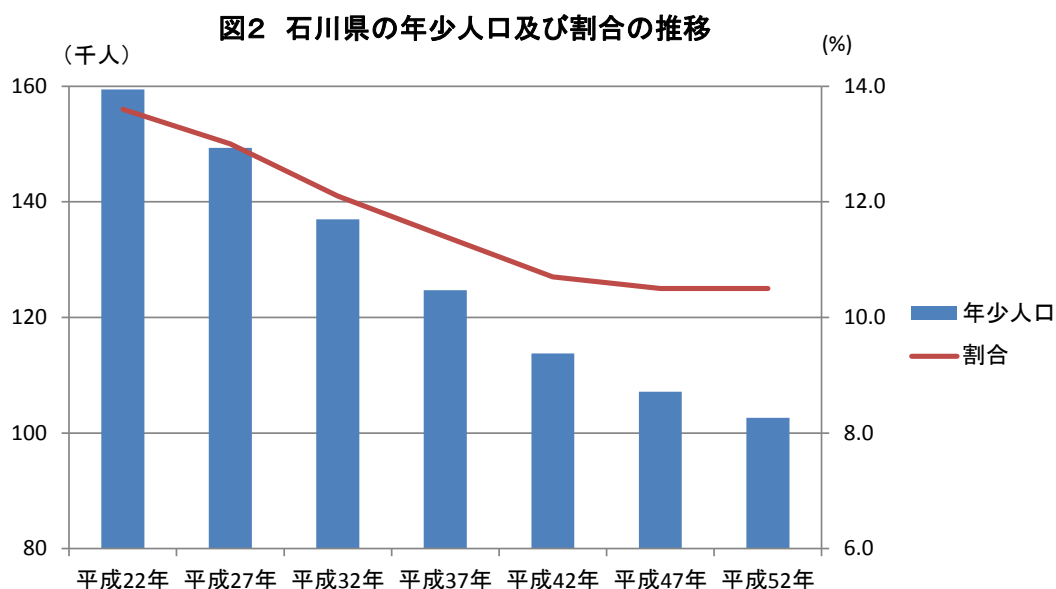
本県の年少(0-14 歳)人口は、少子化の進展に伴い、総人口と同様に減少が続き、平成 52(2040)年には 102,656 人と平成 22(2010)年(159,423 人)の約 2/3 に減少する。

総人口に占める割合も、平成 22(2010)年の 13.6%から平成 52(2040)年には 10.5%と 3.1ポイント低下する。

表2 石川県の年少(0-14歳)人口、指数及び割合の推移

年次	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)
年少人口(人)	159,423	149,335	136,968	124,705	113,768	107,136	102,656
指数 ※	100.0	93.7	85.9	78.2	71.4	67.2	64.4
割合(%)	13.6	13.0	12.1	11.4	10.7	10.5	10.5

※ 平成22(2010)年の年少人口を100としたときの年少人口の値



(3) 生産年齢(15-64歳)人口及びその割合も減少傾向。

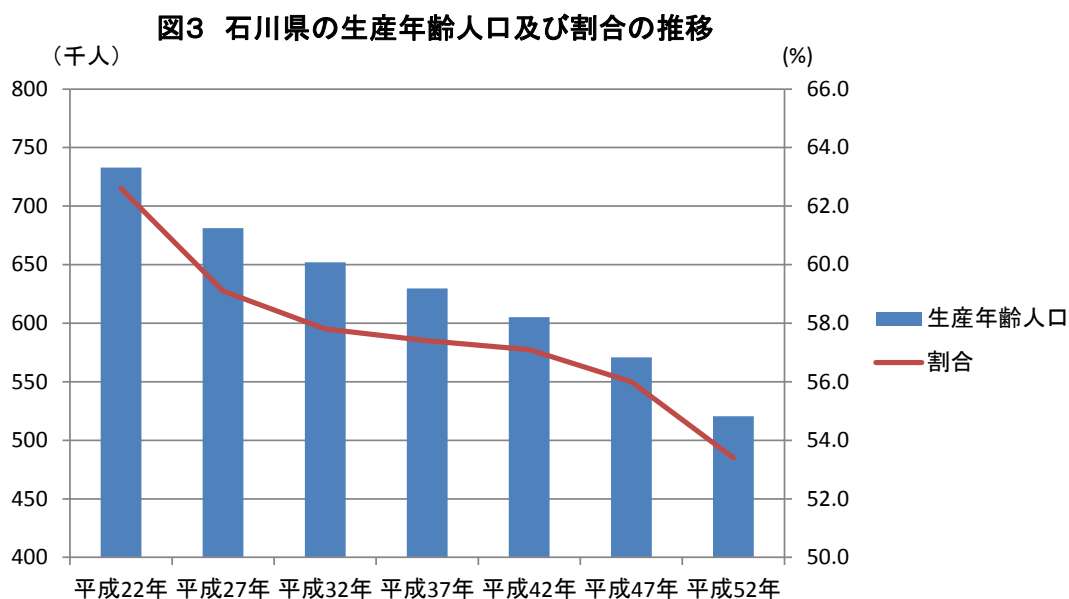
本県の生産年齢(15-64歳)人口は、総人口及び年少人口と同様に減少が続き、平成52(2040)年には520,608人と、平成22(2010)年(732,811人)の約7割に減少する。

総人口に占める割合も平成22(2010)年の62.6%から、平成52(2040)年には53.4%と9.2ポイント低下する。

表3 石川県の生産年齢(15-64歳)人口、指数及び割合の推移

年次	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)
生産年齢人口(人)	732,811	681,107	651,901	629,668	605,023	570,714	520,608
指数 ※	100.0	92.9	89.0	85.9	82.6	77.9	71.0
割合 (%)	62.6	59.1	57.8	57.4	57.1	56.0	53.4

※ 平成22(2010)年の生産年齢人口を100としたときの生産年齢人口の値



(4) 老年(65歳以上)人口及びその割合は増加傾向。

本県の老年(65歳以上)人口は、平成32(2020)年から平成47(2035)年の間には変動が少ないが、全体としては徐々に増加傾向が続き、平成52(2040)年には351,106人と、平成22(2010)年(277,554人)の1.3倍近くに増加する。

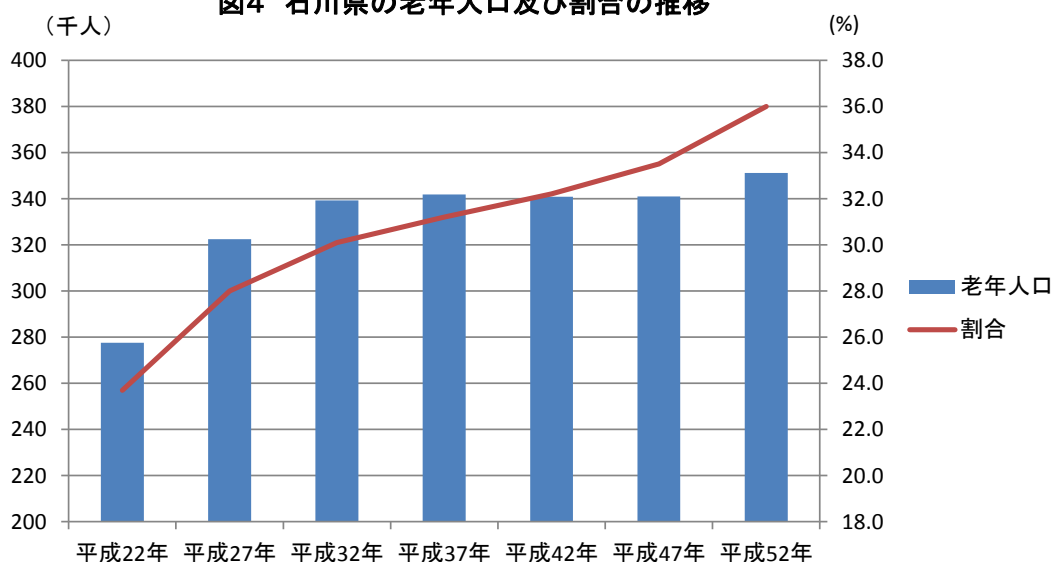
総人口に占める割合も平成22(2010)年の23.7%から、平成32(2020)年には3割を超え、平成52(2040)年には36.0%と10ポイント以上上昇する。

表4 石川県の老年(65歳以上)人口、指数及び割合の推移

年次	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)
老年人口(人)	277,554	322,484	339,199	341,797	340,839	340,974	351,106
指数 ※	100.0	116.2	122.2	123.1	122.8	122.8	126.5
割合(%)	23.7	28.0	30.1	31.2	32.2	33.5	36.0

※ 平成22(2010)年の老年人口を100としたときの老年人口の値

図4 石川県の老年人口及び割合の推移



(5) 75歳以上人口は平成42(2030)年まで増加し、その後は減少傾向に転じる。

本県の75歳以上人口は、平成42(2030)年の215,337人をピークに、その後は減少傾向となり、平成52(2040)年には204,534人となる。

総人口に占める割合は平成22(2010)年の12.1%から、平成42(2030)年には2割を超え、平成52(2040)年には21.0%と8.9ポイント上昇するが、増加幅は平成37(2025)年以降縮小傾向にある。

表5 石川県の75歳以上人口、指数及び割合の推移

年次	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)
75歳以上人口(人)	141,217	154,950	174,500	207,554	215,337	210,900	204,534
指数 ※	100.0	109.7	123.6	147.0	152.5	149.3	144.8
割合(%)	12.1	13.4	15.5	18.9	20.3	20.7	21.0

※ 平成22(2010)年の75歳以上人口を100としたときの75歳以上人口の値

図5 石川県の75歳以上人口及び割合の推移

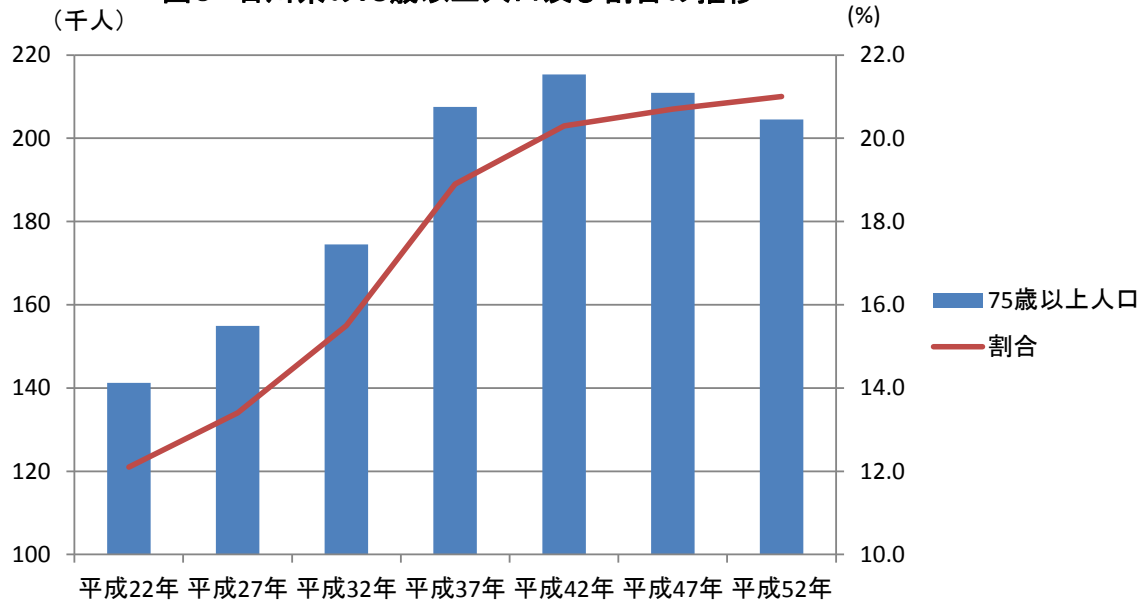
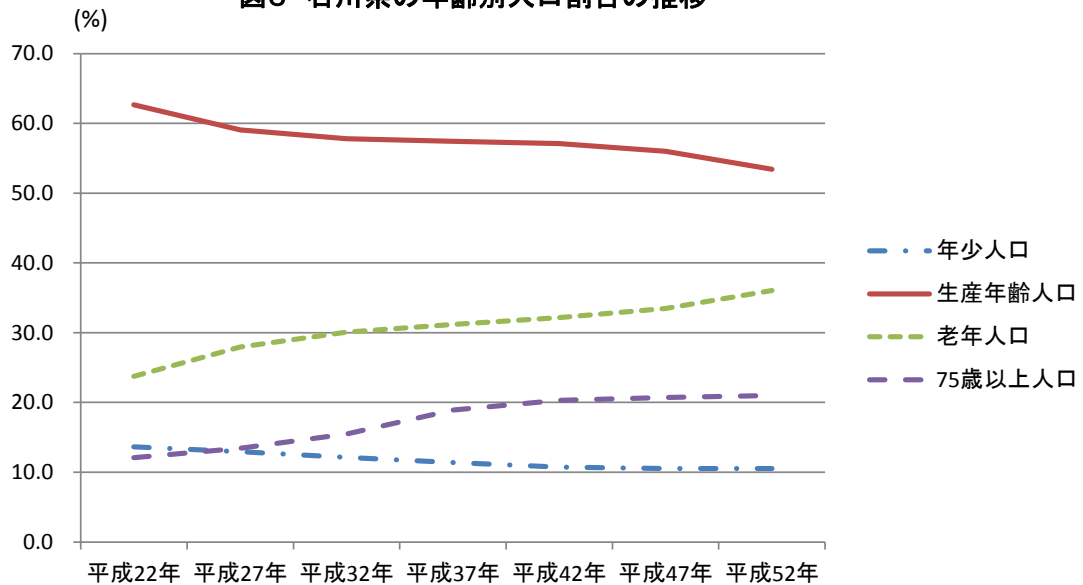


表6 石川県の年齢別人口割合の推移

年齢区分	(%)						
	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)
年少(0-14歳)人口	13.6	13.0	12.1	11.4	10.7	10.5	10.5
生産年齢(15-64歳)人口	62.6	59.1	57.8	57.4	57.1	56.0	53.4
老年(65歳以上)人口	23.7	28.0	30.1	31.2	32.2	33.5	36.0
75歳以上人口	12.1	13.4	15.5	18.9	20.3	20.7	21.0

※ 総人口に占める各年齢人口の割合

図6 石川県の年齢別人口割合の推移



(6) 石川県の総人口順位は平成 52(2040)年には全国 31 位に上昇。

本県の総人口を他の都道府県と比較すると、人口は減少するもののその減少率が比較的小さいため、全国順位は平成 22(2010)年の 34 位から平成 52(2040)年には 31 位に 3 ランク上昇する。

また、全国の総人口に占める割合は、0.9%で 30 年後も変わらない。因みに、隣県富山県は 0.9%から 0.8%へ 0.1 ポイント低下する。

表 7 主な都府県別総人口（全国順位）の推移

(人、%)									
都府県	順位	平成22年 (2010年)	割合 ※	順位	平成37年 (2025年)	割合 ※	順位	平成52年 (2040年)	割合 ※
東京都	1	13,159,388	10.3	1	13,178,672	10.9	1	12,307,641	11.5
神奈川県	2	9,048,331	7.1	2	9,009,667	7.5	2	8,343,495	7.8
大阪府	3	8,865,245	6.9	3	8,410,039	7	3	7,453,526	6.9
・		・			・			・	
・		・			・			・	
石川県	34	1,169,788	0.9	33	1,096,170	0.9	31	974,370	0.9
・		・			・			・	
富山県	37	1,093,247	0.9	37	985,889	0.8	36	841,431	0.8
・		・			・			・	
福井県	43	806,314	0.6	43	731,030	0.6	43	633,236	0.6
・		・			・			・	
・		・			・			・	

※ 全国総人口に占める割合

2 県内市町、地域の将来推計人口

(1) 30 年後（平成 52(2040)年）人口が増加している市町は野々市市、川北町の 2 市町のみ。

県内市町別に将来推計人口をみると、総人口が増加する市町は平成 22(2010)年の 7 から今後減少を続け、平成 27(2015)年には 5、平成 32(2020)年には 4 となり、平成 37(2025)年以降は野々市市と川北町の 2 市町のみとなる。

地域別にみると、石川中央以外の地域は一貫して人口減少を続けるが、石川中央も平成 32(2020)年以降は減少に転じる。特に奥能登は、平成 27(2015)年以降減少率が 2 ケタとなる。

○総人口が増加する市町(5 年前との比較)

平成 22(2010)年・・・7 (金沢市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町)

平成 27(2015)年・・・5 (金沢市、能美市、野々市市、川北町、津幡町)

平成 32(2020)年・・・4 (能美市、野々市市、川北町、津幡町)

平成 37(2025)年～平成 52(2040)年・・・2 (野々市市、川北町)

表8 石川県の市町・地域別人口増加率（総人口）

市町・地域	（％）						
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
石川県	△ 0.4	△ 1.4	△ 2.2	△ 2.8	△ 3.3	△ 3.9	△ 4.4
加賀	1.3	△ 0.1	△ 1.0	△ 1.8	△ 2.3	△ 2.9	△ 3.5
能登	△ 7.1	△ 7.6	△ 7.7	△ 8.4	△ 8.9	△ 9.4	△ 10.1
南加賀	△ 0.8	△ 1.8	△ 2.4	△ 3.1	△ 3.6	△ 4.1	△ 4.4
石川中央	1.9	0.5	△ 0.6	△ 1.3	△ 1.9	△ 2.6	△ 3.2
中能登	△ 5.8	△ 6.2	△ 6.4	△ 7.1	△ 7.7	△ 8.2	△ 8.9
奥能登	△ 9.3	△ 10.0	△ 10.2	△ 11.0	△ 11.5	△ 12.1	△ 12.7
金沢市	1.7	0.3	△ 0.7	△ 1.5	△ 2.1	△ 2.7	△ 3.4
七尾市	△ 6.4	△ 6.6	△ 6.6	△ 7.3	△ 7.9	△ 8.4	△ 9.1
小松市	△ 0.6	△ 1.8	△ 2.4	△ 3.1	△ 3.7	△ 4.2	△ 4.7
輪島市	△ 9.0	△ 9.5	△ 9.6	△ 10.2	△ 10.6	△ 11.0	△ 11.5
珠洲市	△ 9.7	△ 10.8	△ 11.1	△ 11.9	△ 12.5	△ 13.1	△ 13.7
加賀市	△ 4.1	△ 4.7	△ 5.0	△ 5.8	△ 6.4	△ 7.0	△ 7.5
羽咋市	△ 6.1	△ 6.3	△ 6.5	△ 7.5	△ 8.3	△ 9.1	△ 9.9
かほく市	△ 0.6	△ 1.6	△ 2.4	△ 3.3	△ 4.0	△ 4.6	△ 5.0
白山市	0.9	△ 0.3	△ 1.1	△ 1.9	△ 2.5	△ 3.2	△ 3.8
能美市	3.1	1.5	0.3	△ 0.4	△ 1.0	△ 1.4	△ 1.8
野々市市	8.1	4.7	3.0	2.2	1.6	0.8	0.0
川北町	8.3	6.0	4.1	3.4	3.2	3.0	2.9
津幡町	3.4	1.4	0.2	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.5	△ 2.1
内灘町	0.1	△ 0.8	△ 1.6	△ 2.6	△ 3.5	△ 4.2	△ 4.9
志賀町	△ 6.6	△ 7.1	△ 7.4	△ 8.1	△ 8.6	△ 9.0	△ 9.7
宝達志水町	△ 6.3	△ 6.6	△ 6.7	△ 7.5	△ 8.2	△ 8.8	△ 9.5
中能登町	△ 2.2	△ 3.4	△ 4.1	△ 4.8	△ 5.2	△ 5.5	△ 5.8
穴水町	△ 7.7	△ 8.8	△ 9.3	△ 10.1	△ 10.6	△ 11.1	△ 11.7
能登町	△ 10.2	△ 10.7	△ 10.8	△ 11.9	△ 12.6	△ 13.5	△ 14.3

※ 人口増加率は5年前との比較

(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

(2) 30年後（平成52(2040)年）奥能登の人口は現在の半分以下に減少。

市町別の総人口を平成22(2010)年を100とした指数で見ると、平成52(2040)年には、人口の増加する川北町(124.8)と野々市市(112.9)のみ100を超え、これ以外の17市町はすべて100を下回る。特に、珠洲市(45.9)と能登町(45.5)は50を下回り、人口が平成22(2010)年の半分以下となる。

地域別にみると、指数の高い順に石川中央(91.1)、南加賀(82.1)、中能登(63.0)、奥能登(48.9)の順となり、奥能登の人口は平成22(2010)年の半分以下となる。

(3) 今後も金沢市を中心とした石川中央への人口集中が続く。

地域別に県の総人口に占める各地域の総人口の割合をみると、石川中央のみ今後も上昇を続け、南加賀はほぼ横ばい、中能登と奥能登は下降を続ける。金沢市を中心とした石川中央への人口集中が続く。30年の間に、加賀の総人口の割合は81.9%から87.4%に5.5ポイント上昇し、能登の総人口の割合は18.1%から12.6%に同ポイント下降する。

表9 石川県の市町・地域別将来推計人口（総人口）

市町・地域	総人口（人）		2010年を100とした指数
	2010年	2040年	
石川県	1,169,788	974,370	83.3
加賀	958,370	851,863	88.9
能登	211,418	122,507	57.9
南加賀	235,147	192,947	82.1
石川中央	723,223	658,916	91.1
中能登	135,960	85,618	63.0
奥能登	75,458	36,889	48.9
金沢市	462,361	417,156	90.2
七尾市	57,900	35,880	62.0
小松市	108,433	88,528	81.6
輪島市	29,858	15,440	51.7
珠洲市	16,300	7,474	45.9
加賀市	71,887	49,428	68.8
羽咋市	23,032	14,025	60.9
かほく市	34,651	28,008	80.8
白山市	110,459	97,028	87.8
能美市	48,680	47,319	97.2
野々市市	51,885	58,569	112.9
川北町	6,147	7,672	124.8
津幡町	36,940	35,680	96.6
内灘町	26,927	22,475	83.5
志賀町	22,216	13,193	59.4
宝達志水町	14,277	8,722	61.1
中能登町	18,535	13,798	74.4
穴水町	9,735	5,079	52.2
能登町	19,565	8,896	45.5

※（地域区分）加賀…かほく市・河北郡以南
 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南
 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図7 市町別総人口指数(2040年)

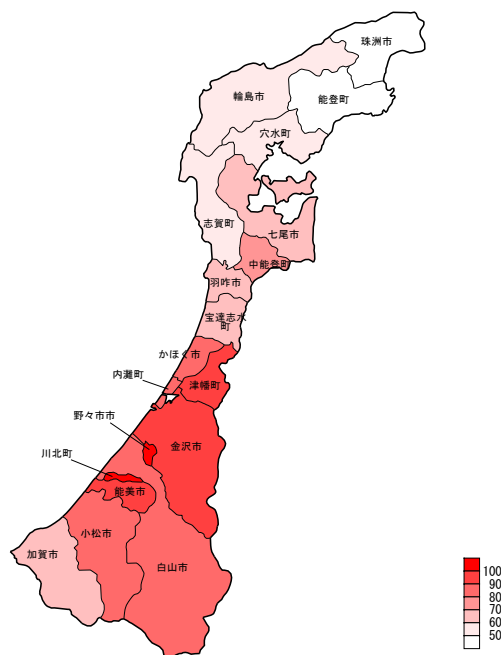
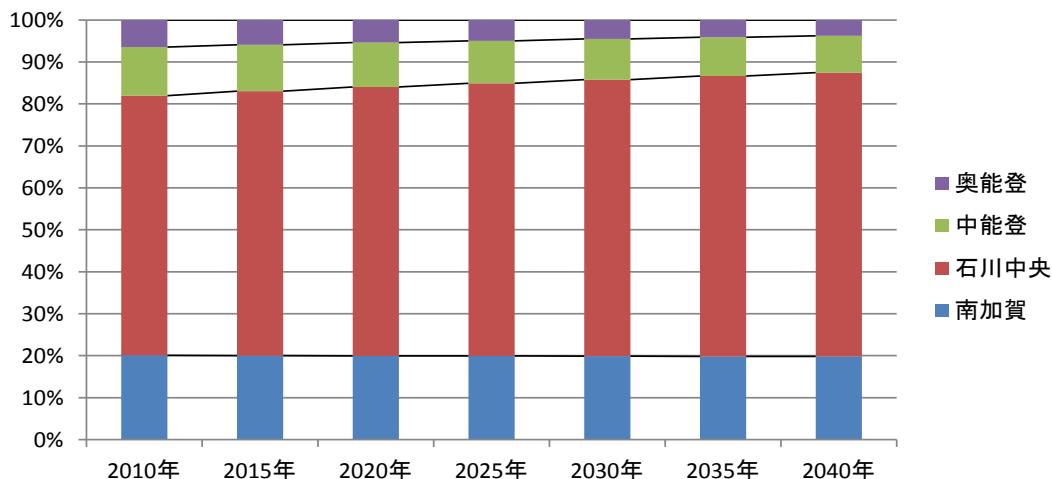


表10 各地域別総人口の割合の推移

地域	割合 (%)						
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
加賀	81.9	83.0	84.0	84.9	85.8	86.6	87.4
能登	18.1	17.0	16.0	15.1	14.2	13.4	12.6
南加賀	20.1	20.0	20.0	19.9	19.9	19.8	19.8
石川中央	61.8	63.0	64.0	65.0	65.9	66.8	67.6
金沢市	39.5	40.2	40.8	41.4	41.9	42.4	42.8
中能登	11.6	11.1	10.6	10.1	9.7	9.2	8.8
奥能登	6.5	5.9	5.4	5.0	4.5	4.1	3.8

※ 石川県の総人口に占める各地域の総人口の割合
 （地域区分）加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図8 各地域別総人口の割合の推移



(4) 年少(0-14歳)人口が増加するのは川北町のみ。

市町別の年少人口を平成22(2010)年を100とした指数で見ると、平成52(2040)年には、川北町(110.7)のみ100を超え、これ以外の18市町はすべて100を下回る。特に、能登町(29.5)は平成22(2010)年の3割以下となる。

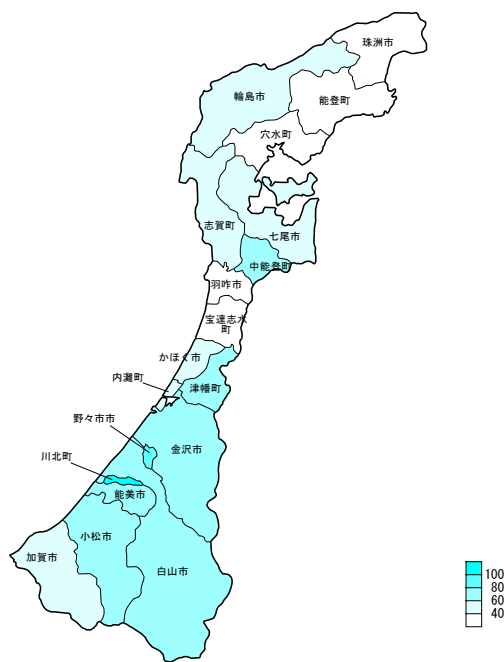
地域別にみると、やはり能登(45.0)の減少幅が大きく、中能登(48.6)で平成22(2010)年の半分以上、奥能登(36.6)で4割以下となる。

表11 石川県の市町・地域別将来推計人口(年少人口)

市町・地域	年少人口(0-14歳)(人)		2010年を100とした指数
	2010年	2040年	
石川県	159,423	102,656	64.4
加賀	136,197	92,209	67.7
能登	23,227	10,447	45.0
南加賀	34,195	21,902	64.1
石川中央	102,002	70,307	68.9
中能登	16,249	7,892	48.6
奥能登	6,978	2,555	36.6
金沢市	62,356	42,734	68.5
七尾市	6,933	3,291	47.5
小松市	15,915	9,784	61.5
輪島市	2,850	1,167	40.9
珠洲市	1,515	551	36.4
加賀市	8,956	4,644	51.9
羽咋市	2,674	1,054	39.4
かほく市	5,091	2,833	55.6
白山市	16,953	11,506	67.9
能美市	8,062	6,077	75.4
野々市市	7,551	6,908	91.5
川北町	1,262	1,397	110.7
津幡町	6,076	4,235	69.7
内灘町	3,975	2,091	52.6
志賀町	2,402	1,263	52.6
宝達志水町	1,796	679	37.8
中能登町	2,444	1,605	65.7
穴水町	860	320	37.2
能登町	1,753	517	29.5

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南
 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南
 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図9 市町別年少人口指数(2040年)



(5) 生産年齢(15-64歳)人口も増加するのは川北町のみ。

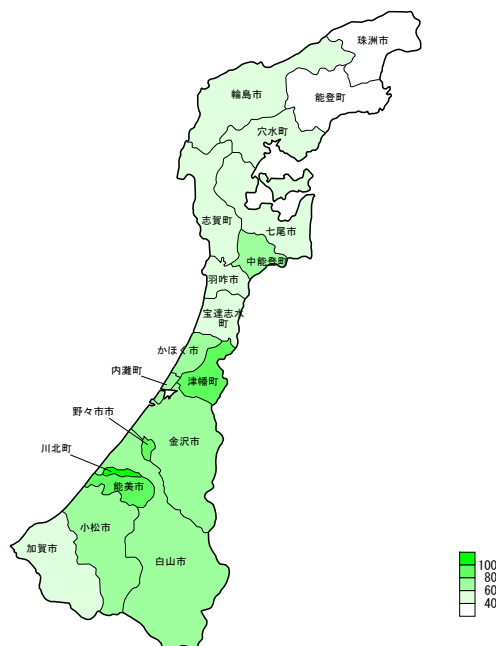
市町別の生産年齢人口を平成22(2010)年を100とした指数で見ると、平成52(2040)年には、年少人口と同様に川北町(115.2)のみ100を超え、これ以外の18市町はすべて100を下回る。特に、珠洲市(37.4)と能登町(33.9)は平成22(2010)年の4割以下となる。

地域別にみると、年少人口と同様に能登(47.4)の減少幅が大きく、奥能登(39.6)では平成22(2010)年の4割以下となる。

表12 石川県の市町・地域別将来推計人口（生産年齢人口）

市町・地域	生産年齢人口(15-64歳) (人)		2010年を100とした指数
	2010年	2040年	
石川県	732,811	520,608	71.0
加賀	615,791	465,145	75.5
能登	117,018	55,463	47.4
南加賀	144,080	102,436	71.1
石川中央	471,711	362,709	76.9
中能登	78,222	40,114	51.3
奥能登	38,796	15,349	39.6
金沢市	301,992	229,073	75.9
七尾市	33,840	16,918	50.0
小松市	66,926	47,442	70.9
輪島市	15,641	6,810	43.5
珠洲市	8,085	3,022	37.4
加賀市	42,879	24,604	57.4
羽咋市	13,252	6,269	47.3
かほく市	21,097	14,686	69.6
白山市	70,655	52,637	74.5
能美市	30,496	26,037	85.4
野々市市	36,186	34,790	96.1
川北町	3,779	4,353	115.2
津幡町	24,122	19,748	81.9
内灘町	17,659	11,775	66.7
志賀町	12,237	5,925	48.4
宝達志水町	8,315	4,109	49.4
中能登町	10,578	6,893	65.2
穴水町	5,037	2,115	42.0
能登町	10,033	3,402	33.9

図10 市町別生産年齢人口指数(2040年)



(6) 老年(65歳以上)人口は金沢市及びその近郊で増加傾向。

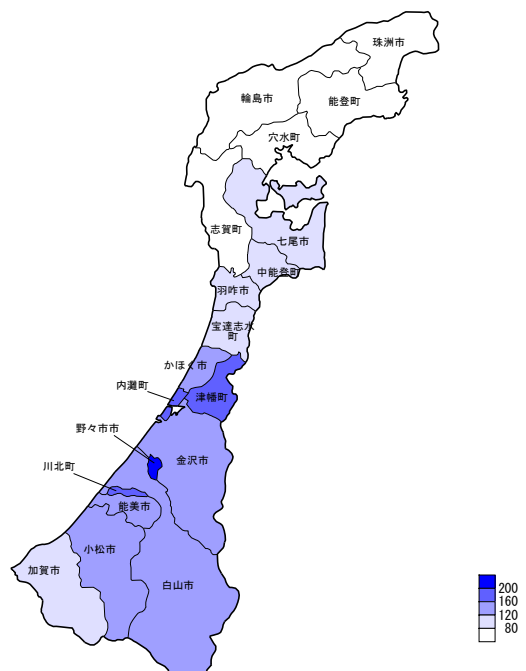
市町別の老年人口を平成22(2010)年を100とした指数で見ると、平成52(2040)年には、野々市市(207.1)、川北町(173.8)、津幡町(173.5)、内灘町(162.6)、能美市(150.2)、金沢市(148.3)、白山市(143.9)など金沢市とその近郊での増加が目立つ。

地域別にみると、加賀(142.7)では大幅に増加するが、能登(79.5)では減少する。従って、能登ではすべての年齢層で人口が減少する。

表13 石川県の市町・地域別将来推計人口（老年人口）

市町・地域	老年人口(65歳以上) (人)		2010年を100とした指数
	2010年	2040年	
石川県	277,554	351,106	126.5
加賀	206,382	294,509	142.7
能登	71,172	56,597	79.5
南加賀	56,873	68,609	120.6
石川中央	149,509	225,900	151.1
中能登	41,488	37,612	90.7
奥能登	29,684	18,985	64.0
金沢市	98,013	145,349	148.3
七尾市	17,127	15,671	91.5
小松市	25,592	31,302	122.3
輪島市	11,367	7,463	65.7
珠洲市	6,700	3,901	58.2
加賀市	20,053	20,180	100.6
羽咋市	7,105	6,702	94.3
かほく市	8,463	10,489	123.9
白山市	22,851	32,885	143.9
能美市	10,122	15,205	150.2
野々市市	8,147	16,871	207.1
川北町	1,106	1,922	173.8
津幡町	6,742	11,697	173.5
内灘町	5,293	8,609	162.6
志賀町	7,577	6,005	79.3
宝達志水町	4,166	3,934	94.4
中能登町	5,513	5,300	96.1
穴水町	3,838	2,644	68.9
能登町	7,779	4,977	64.0

図11 市町別老年人口指数(2040年)



(7) 75歳以上人口は野々市市、内灘町で2倍以上に増加。

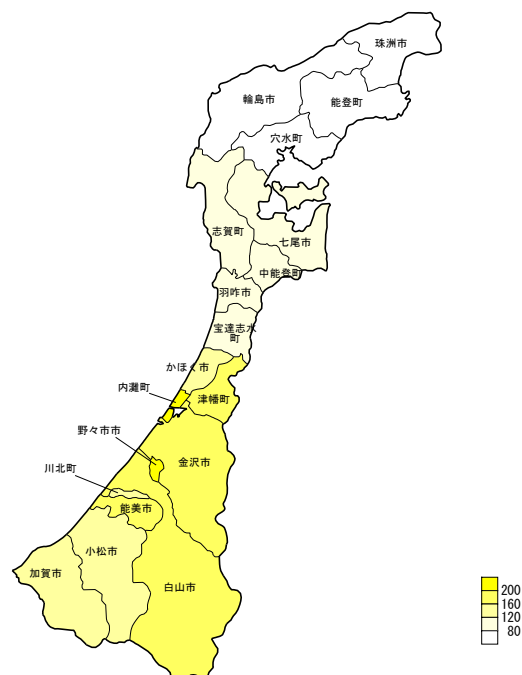
市町別の75歳以上人口を平成22(2010)年を100とした指数で見ると、平成52(2040)年には、野々市市(237.8)、内灘町(227.7)で平成22(2010)年の2倍以上となるが、珠洲市(68.5)など奥能登の各市町は減少する。

地域別にみると、加賀(165.1)では大幅に増加、中能登(106.7)でもわずかに増加するが、奥能登(75.7)では減少する。

表14 石川県の市町・地域別将来推計人口(75歳以上人口)

市町・地域	75歳以上人口(人)		2010年を100とした指数
	2010年	2040年	
石川県	141,217	204,534	144.8
加賀	101,364	167,375	165.1
能登	39,853	37,159	93.2
南加賀	28,185	39,246	139.2
石川中央	73,179	128,129	175.1
中能登	22,530	24,039	106.7
奥能登	17,323	13,120	75.7
金沢市	48,687	82,625	169.7
七尾市	9,406	10,146	107.9
小松市	12,517	17,776	142.0
輪島市	6,638	5,177	78.0
珠洲市	3,904	2,674	68.5
加賀市	10,188	12,384	121.6
羽咋市	3,733	4,272	114.4
かほく市	4,127	5,981	144.9
白山市	11,002	18,803	170.9
能美市	4,884	8,164	167.2
野々市市	3,874	9,211	237.8
川北町	596	922	154.7
津幡町	3,257	6,427	197.3
内灘町	2,232	5,082	227.7
志賀町	4,236	3,996	94.3
宝達志水町	2,251	2,406	106.9
中能登町	2,904	3,219	110.8
穴水町	2,271	1,806	79.5
能登町	4,510	3,463	76.8

図12 市町別75歳以上人口指数(2040年)



3 県内市町、地域の年齢別人口割合

(1) 年少(0-14歳)人口割合はすべての市町で低下。

県内市町別に年少人口の年齢別割合をみると、平成52(2040)年にはすべての市町でその割合が低下する。割合が最も高いのは川北町(18.2%)、最も低いのは能登町(5.8%)である。

地域別にみると、平成52(2040)年には奥能登(6.9%)に加え中能登(9.2%)でも1割以下となる。

(2) 生産年齢(15-64歳)人口割合もすべての市町で低下。

市町別に生産年齢人口の年齢別割合をみると、年少人口割合と同様に平成52(2040)年にはすべての市町でその割合が低下する。割合が最も高いのは野々市市(59.4%)、最も低いのは能登町(38.2%)である。

地域別にみると、平成52(2040)年には能登(45.3%) (奥能登(41.6%)、中能登(46.9%))で半分以下となる。

(3) 老年(65歳以上)人口割合はすべての市町で上昇。

市町別の老年人口の年齢別割合をみると、平成 52(2040)年には、すべての市町でその割合が上昇する。割合が最も高いのは能登町(55.9%)、最も低いのは川北町(25.1%)である。

地域別にみると、各地域とも大幅に上昇し、奥能登(51.5%)では5割を超えるものの、能登4市5町の老年人口そのものは減少する。

(4) 75歳以上人口割合もすべての市町で上昇。

市町別の75歳以上人口の年齢別割合をみると、平成 52(2040)年には、すべての市町でその割合が上昇するが、上昇する割合は老年人口の割合よりも著しい。割合が最も高いのは能登町(38.9%)、最も低いのは川北町(12.0%)である。

地域別にみると、各地域とも大幅に上昇し、加賀(19.6%)では平成 22(2010)年(10.6%)の2倍近くになるものの、奥能登2市2町の75歳以上人口そのものは減少する。

表15 石川県の市町・地域別、年齢別人口割合

市町・地域	年少人口		生産年齢人口		老年人口		75歳以上人口	
	2010年	2040年	2010年	2040年	2010年	2040年	2010年	2040年
石川県	13.6	10.5	62.6	53.4	23.7	36.0	12.1	21.0
加賀	14.2	10.8	64.3	54.6	21.5	34.6	10.6	19.6
能登	11.0	8.5	55.3	45.3	33.7	46.2	18.9	30.3
南加賀	14.5	11.4	61.3	53.1	24.2	35.6	12.0	20.3
石川中央	14.1	10.7	65.2	55.0	20.7	34.3	10.1	19.4
中能登	12.0	9.2	57.5	46.9	30.5	43.9	16.6	28.1
奥能登	9.2	6.9	51.4	41.6	39.3	51.5	23.0	35.6
金沢市	13.5	10.2	65.3	54.9	21.2	34.8	10.5	19.8
七尾市	12.0	9.2	58.4	47.2	29.6	43.7	16.2	28.3
小松市	14.7	11.1	61.7	53.6	23.6	35.4	11.5	20.1
輪島市	9.5	7.6	52.4	44.1	38.1	48.3	22.2	33.5
珠洲市	9.3	7.4	49.6	40.4	41.1	52.2	24.0	35.8
加賀市	12.5	9.4	59.6	49.8	27.9	40.8	14.2	25.1
羽咋市	11.6	7.5	57.5	44.7	30.8	47.8	16.2	30.5
かほく市	14.7	10.1	60.9	52.4	24.4	37.5	11.9	21.4
白山市	15.3	11.9	64.0	54.2	20.7	33.9	10.0	19.4
能美市	16.6	12.8	62.6	55.0	20.8	32.1	10.0	17.3
野々市市	14.6	11.8	69.7	59.4	15.7	28.8	7.5	15.7
川北町	20.5	18.2	61.5	56.7	18.0	25.1	9.7	12.0
津幡町	16.4	11.9	65.3	55.3	18.3	32.8	8.8	18.0
内灘町	14.8	9.3	65.6	52.4	19.7	38.3	8.3	22.6
志賀町	10.8	9.6	55.1	44.9	34.1	45.5	19.1	30.3
宝達志水町	12.6	7.8	58.2	47.1	29.2	45.1	15.8	27.6
中能登町	13.2	11.6	57.1	50.0	29.7	38.4	15.7	23.3
穴水町	8.8	6.3	51.7	41.6	39.4	52.1	23.3	35.6
能登町	9.0	5.8	51.3	38.2	39.8	55.9	23.1	38.9

※ 総人口に占める各年齢別人口の割合
 (地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

石川県の将来推計人口

(H25.3 国立社会保障・人口問題研究所推計)

平成 25 年 4 月 発行

編集・発行 石川県県民文化局県民交流課統計情報室人口労働グループ
〒920-8580 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
TEL 076-225-1344
FAX 076-225-1345
E-mail toukei@pref.ishikawa.lg.jp

石川県統計情報室ホームページ
<http://toukei.pref.ishikawa.jp/>